

別府くべり



私は大分県別府市の生

まれて、別府育ち。子ども頃、別府銘菓「別府くべり」を食べて、こんなにおいしいお菓子があ

るのかと感動したのを覚えて

いる。さて、55歳になった私、久しぶりに別府の友人に会うことになったので、当日、「別府くべり」を一緒に食べようとインターネットで購入しておいた。彼もまた医療従事者であり、今、親子関係や夫婦関係、職場の人間関

係に悩んでいた。

私の娘と一緒に3人でシェアして食べたのだが、彼は今まで「別府くべり」を食べたことがないと言う。不思議に思った私は、両親に知っているか聞いてみたらと進言し、その日彼とお別れした。

後日彼から電話があり、彼の両親は、「別府くべり」の事を知っていた。彼は、「自分は子どもの頃食べた記憶がない。今村君は子どもの頃からあ

ったはずだと言っていた

る」と告げると、両親は「このお菓子は、子どもにはまだ早いから」と言

って両親だけで、全部食べてしまっていたことが分かった。

「今村君の家は、ちゃんと子どもたちにも食べさせていたのに」と両親に迫る彼。すると両親は「今村君の家は金持ちだ

から」と答えたと言った。友人は、そんなにおいしいお菓子ならどうして自分の子どもたちにも食べさせたいと思わなかった

のかと、とても悔しがっていた。

このままでは自分も、自分の両親と同じになっ

てしまおうと考えた彼は、インターネットで早速家庭用と職場用に5箱注文し、1つは彼の妻と子どもにプレゼントし、残り

を職場へと持っていった。職場に着き、お気に入り

の看護師にお土産として1つ手渡した彼。夕方、職場の別の看護師に「別府くべりはおいしかったか」と尋ねたところ、「そ

んな物は知らない」と言われ、驚いた彼は手渡した看護師に聞いたところ、

「今、自分のロッカーの中にある。私1人のために、買ってきてくれたのではないのか？」と言われた。「職場でシェアし

なかつたんかい」と思ったが、お気に入りの看護師なので、「君のために買ってきたに決まってるじゃん」と見えを張り、残った3箱のうち2箱を日勤帯の別の看護師に手渡した。

翌日になって、「別府くべり」の評判が気になった彼は、「お土産はどうだった？」と聞いたところ、再度「そんなものは知らない」と言われた。

不思議に思った彼は、日勤帯の看護師に聞いてみたら、なんと2箱とも日勤帯の看護師が全部食べてしまっていた。「昨夜帯の分を残しておかんかったんかい」と思ったが、

やむなく残りの1箱を深夜帯の看護師に手渡し、「別府くべり」は家に帰って妻と子どもに分けてもらおう事にした。

ところが彼の悲劇はまだ続く。帰宅した彼が「別府くべり」を食べようと奥さんに所在を聞いたところ、「うん、おいしかった。子どもと全部食べたよ」と返答され、ぼうぜんとなつてしまった彼。

結局彼は、大量購入した「別府くべり」を一口も食べることができなかった

のである。このように人の人間性さえ破壊してしまう別府銘菓「別府くべり」は大分県のおおいた一村一品オンラインショップで購入可能です(品切れの場合もあります)。自分の家庭や職場でポイントを上げたい方は、ぜひご購入を検討されてください。

ただし、私の娘は「私なら一度に6個は食べられる自信がある」と自信満々で、独り占めする人が現れて、かえって人間関係が悪くなってしまう

せん。なお、この記事は(一社)鳥栖三養基医師会報2023年2月号の記事を基に、本紙でも掲載をいたしました。